

## 協会だより

### 平成29年度植物調節剤の研究開発事業に係わる試験研究課題の委託

植物調節剤の有効利用、雑草の生理・生態等の研究啓発を目的として、本年度は下記の試験研究を国立研究開発法人、大学、道府県の試験研究機関に委託した。

- ①数種の除草剤抵抗性雑草における抵抗性成立要因の解明  
(農研機構 中央農業研究センター・京都大学)
- ②水稲の生育中後期におけるノビエ・ホタルイの生態の解明と防除方法の開発  
(秋田県農業試験場)
- ③グリホサート抵抗性ネズミギ等の難防除雑草の防除法の開発  
(愛知県農業総合試験場)
- ④水稲の乾田直播栽培における省力的な除草体系の確立  
(福岡県農林業総合試験場 筑後分場)

### 平成29年度雑草生態及び除草剤試験に関する研修会の開催

主催：植調協会、農研機構 中央農業研究センター  
日時：平成29年8月28日(月)～29日(火)  
場所：農研機構 第1研究本館 大会議室  
(茨城県つくば市)、植調研究所(茨城県牛久市)  
対象者：公立農業試験研究機関、植調協会試験地等の雑草防除試験担当者、関係農業会社

#### 研修内容：

講義(農研機構 第1研究本館 大会議室)  
水稲栽培と雑草生態及びその防除  
畑作物栽培、樹園地管理と雑草生態及びその防除  
除草剤の基礎  
農薬の登録制度について  
水稲用除草剤の試験実施と成績のとりまとめ  
畑地、樹園地用除草剤の試験実施と成績のとりまとめ  
水稲用除草剤地域技術指標について  
雑草見本園の見学(中央農業研究センター)  
現地研修(植調研究所)  
問い合わせ先：植調協会 事務局 企画課

## 研究会等のお知らせ

### ■シンポジウム「薬剤施用法を考える」のご案内

主催：一般社団法人日本植物防疫協会  
日時：平成29年9月14日(木) 10:00～17:30  
場所：日本教育会館「一ツ橋ホール」  
(東京都千代田区一ツ橋2-6-2 TEL 03(3230)2831)

#### プログラム(演題は仮題)：

- 薬剤施用法をめぐる論点 (一社)日本植物防疫協会  
水稲の新しい移植栽培法の展開  
藤岡修(農研機構農業技術革新工学研究センター)  
水稲初期防除における新しい粒剤施用法  
寺岡豪(Meiji Seika ファルマ(株))  
種子処理による省力的な薬剤施用法  
森拓馬(バイエルクロップサイエンス(株))  
畑作の耕起・畝成形機の現状と薬剤施用法  
深山大介(農研機構中央農業研究センター)  
海外での薬剤施用法の現状と国内への適用における課題  
杉井信次(シンジェンタジャパン(株))

#### 編集後記

7月号はバリエーションに満ちた構成です。  
最初は大豆のマルバルコウ対応の栽培体系の記事です。帰化アサガオは、そのために収穫断念する圃場も出てきており、防除は喫緊の問題です。  
続いて、植物の葉をギザギザにする物質に関する記事です。現象の解説もおもしろいのですが、植物の形態の多様性研究に大きく広がっていくとのこと。  
そのほか、花壇に咲く花を室内で楽しむための「花活布」の紹介や身近なネジバナの分類に関する記事などを掲載しています。(編集子)

## 植調第51巻 第4号

- 発行 平成29年7月14日  
■編集・発行 公益財団法人日本植物調節剤研究協会  
東京都台東区台東1丁目26番6号  
TEL (03)3832-4188 FAX (03)3833-1807  
■発行人 宮下 清貴  
■印刷 (有)ネットワン

© Japan Association for Advancement of Phyto-Regulators (JAPR) 2016

取扱 株式会社全国農村教育協会  
〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)  
TEL (03)3833-1821